

県章



富山県のシンボルでもある立山をモチーフに、その中央にとやまの「と」を配しています。(昭和 63 年制定)

県のさかな「ブリ」



呼び名を変える出世魚で「富山湾の王者」の風格があります。(平成 8 年制定)

県の花「チューリップ」



4 月下旬になると、砺波地方をはじめ各地でこの花のじゅうたんが見られます。(昭和 29 年制定)

県のさかな「ホタルイカ」



青白く光る様は幻想的で、「富山湾の神秘」となっています。(平成 8 年制定)

県の獣「ニホンカモシカ」



黒部峡谷、立山に多く生息し、黙々と生き抜く姿は、県民の姿に例えられています。(昭和 50 年制定)

県のさかな「シロエビ」



透明な淡いピンク色で美しく、「富山湾の宝石」と呼ばれています。(平成 8 年制定)

県の鳥「ライチョウ」



県民が仰ぎ親しんできた霊峰立山に多く生息し、「立山神の使い」として愛されています。

(昭和 36 年制定)

県の木「立山杉」



立山を中心とする山岳地帯に自生し、寒さや雪に強いという特徴があります。(昭和 41 年制定)